

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	196 社会福祉協議会その他の社会福祉団体助成										
予算科目	01-030101-11		社会福祉推進に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課		
市長公約									係名	社会福祉係	
戦略プラン										新規・継続	継続
										事業分類	自治事務（任意）
										事業体制	補助金（直接）
個別計画									事業期間	毎年度	
根拠法令等									SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	つくば市社会福祉協議会
目的	地域におけるきめ細やかな福祉活動の支援を行うことで、地域福祉の充実を図る。
概要 (取組内容)	つくば市社会福祉事業費補助金交付要綱の規定に基づき、市内社会福祉法人の中核的団体である社会福祉協議会に職員人件費として補助金を交付する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	118, 869	114, 346	106, 959	104, 130	104, 130	
	決算額	(千円)	104, 635	91, 476	85, 261	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	104, 635	91, 476	85, 261	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1, 416	1, 411	1, 085	1, 085	1, 085	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 20	0. 20	0. 15	0. 15	0. 15
		正職員時間外勤務	(時間)	20. 00	20. 00	20. 00	20. 00	20. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		社会福祉協議会の健全な法人運営に向けた取り組みとして、市と社会福祉協議会で検討会を立ち上げた。そこにおいて県内の社会福祉協議会の安定した法人運営のために取り組んでいる事例等の調査研究を実施した。
成果		補助金の交付により、市民の福祉活動やボランティア活動の支援、様々な生活課題に関する相談支援サービス等が展開され、市民の福祉サービスの向上に寄与した。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	毎年、積立金を取り崩していることから、健全な法人運営を行っていくためには、安定的な財政基盤の確立が重要である。
改善目標		安定的な財政基盤の確立に向け、社会福祉協議会と協議しながら調査研究を継続して行っていく。また、補助金交付の在り方を検討し、市民への福祉サービス向上につなげていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	社会福祉協議会への補助金の交付により、高い専門性と公益性、地域住民や地域における様々な団体、関係機関とのネットワークを生かした事業が展開されることにより、市民への福祉サービスの向上につながる。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	198 茨城県都市福祉事務所長会事務									
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約										
戦略プラン					新規・継続			継続		
					事業分類			自治事務（任意）		
					事業体制			職員のみ		
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs				

事業の概要

対象	茨城県内の福祉事務所設置自治体									
目的	福祉事務所所管業務の課題を県内広域的に解決できる体制づくりを構築する。									
概要 (取組内容)	県内都市福祉事務所長が相互に情報交換を行い、所管業務の課題を解決するため研修会を実施する。（年2回）									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	7	7	7	7	7	
	決算額	(千円)	7	7	7	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	7	7	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	355	354	359	359	359	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-									
企画・立案、計画	-									
実行	-									
評価、検証	-									

指標の推移

1	指標名	研修会出席回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		福祉事務所所管事業の情報共有や課題の抽出、先進地の取り組みや他市町村の対応を確認できた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	199 法外援護事務									
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約										
戦略プラン					新規・継続 継続					
										事業分類 自治事務（任意）
					事業体制 職員のみ					
個別計画										事業期間
						SDGs	03すべての人に健康と福祉を			
根拠法令等						SDGs				

事業の概要

対象	行旅困窮者
目的	法令に基づく援護が受けられない行旅困窮者の人道的支援を行う。
概要 (取組内容)	援護を求めてきた者に対し、交通費や弁当代を支給する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	100	100	100	100	100	
	決算額	(千円)	7	19	3	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	19	3	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	342	341	346	346	346	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	法外援護費支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3.0	1.0	2.0	3.0	1.0	0.0
	指標の概要	行旅に困窮し、移動が困難な者に対して支給を行った件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		法外援護費を支給し、困窮者等の人道的支援に努めた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	200 各種社会福祉統計事業											
予算科目	01-030101-11		社会福祉推進に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課			
市長公約									係名	社会福祉係		
戦略プラン										新規・継続	継続	
										事業分類	自治事務（義務）	
										事業体制	一部委託	
個別計画								事業期間	毎年度			
根拠法令等	統計法、国民生活基礎調査規則							SDGs				

事業の概要

対象	市民
目的	厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得る。
概要 (取組内容)	社会福祉行政の実態を把握するため、福祉行政報告例（統計法等）により定められた各報告事項の業務報告や社会福祉施設等調査及び介護サービス施設・事業所調査、国民生活基礎調査を県の委託により実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	4	4	4	4	4
	決算額	(千円)	0	28	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	28	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	355	354	359	0	0
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	5.00	5.00	5.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることができる。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	201 地域福祉計画進行管理									
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課			
市長公約						係名	社会福祉係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	茨城県地域福祉支援計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	社会福祉法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	つくば市地域福祉計画推進に係る関係部署									
目的	市民主体のつくばらしい健康で健全な福祉のまちづくりを推進する。									
概要 (取組内容)	地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉、その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項を定めた「つくば市地域福祉計画」を策定するとともに各施策の進捗状況を管理する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	240	240	240	240	240
	決算額	(千円)	72	152	96	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	72	152	96	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,782	1,777	1,455	1,455	1,455
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.25	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市地域福祉計画（第4期）策定推進懇談会
企画・立案、計画	－
実行	つくば市地域福祉計画（第4期）策定推進懇談会
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	地域福祉計画事業の進捗状況報告数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	107.0	150.0	150.0	150.0	150.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		地域福祉計画（第４期）の中間評価においては各担当課による評価結果を取りまとめたものを懇談会開催前に委員に報告するとともに評価結果に対する委員からの質問を取りまとめ、懇談会開催前に対象となる課等に回答を依頼するなどにより懇談会の効率的な運営を図った。
成果		各施策の令和３年度、令和４年度分の進捗状況評価を実施し、概ね計画通りに進んでいることが確認できた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	202 社会福祉審議会事務									
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約										
戦略プラン							新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs				

事業の概要

対象	社会福祉分野における重要課題
目的	社会福祉に関する重要な事項を調査審議するとともに社会福祉行政の円滑な推進を図る。
概要 (取組内容)	市長が任命した学識経験者及び市職員30人以内で組織されたつくば市社会福祉審議会が、社会福祉に関する重要な事項を調査審議し、市長の諮問に対して答申を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		特になし
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	休止
理由	社会福祉に関する重要な事項を調査審議する諮問機関であるが、現在はそのような案件が発生していないため。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	203 日本赤十字社つくば市地区事務											
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課					
市長公約							係名	社会福祉係				
戦略プラン								新規・継続	継続			
								事業分類	自治事務（任意）			
								事業体制	職員のみ			
個別計画							事業期間	毎年度				
根拠法令等							SDGs					

事業の概要

対象	災害被災者等
目的	災害被災者に見舞金や救援物資を支給し、被災者の自立の助長と保護を図る。
概要 (取組内容)	火災及び床上浸水等の被災者に対し、日本赤十字茨城県支部つくば市地区小災害見舞金等支給要項の規定に基づき、被害の程度により、見舞金を支給すると共に救援物資を支給する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1, 440	1, 436	2, 836	1, 382	1, 382
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0. 20	0. 20	0. 40	0. 20
		正職員時間外勤務	(時間)	30. 00	30. 00	30. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(－)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	見舞金支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0. 0	0. 0	5. 0	8. 0	5. 0	3. 0
	実績	5. 0	5. 0	8. 0	3. 0	23. 0	0. 0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		今年度は、夜間や休日に対応するべき災害はなかった。地域消防課と社会福祉係の職員とが相互に連絡できるよう、連絡先を共有した。
成果		日本赤十字社の活動に寄与した。また、被災者に見舞金を支給し、自立の助長が図られた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	204 民生委員推薦会事務									
予算科目	01-030101-12 民生委員推薦会に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約	10-2									
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制				
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	民生委員法					SDGs				

事業の概要

対象	民生委員、児童委員
目的	民生委員・児童委員及び主任児童委員として、資質の高い人材を確保する。
概要 (取組内容)	市町村の議会議員、民生委員、教育関係者など14名の委員で組織し、民生委員に欠員が生じたとき、又は一斉改選時に民生委員児童委員及び主任児童委員として適正な人材を県に推薦するため、選考を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	401	401	401	408	408	
	決算額	(千円)	91	246	301	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	66	221	276	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	25	25	25	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	709	706	716	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	推薦会開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	4.0	1.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		区長や社会福祉協議会等へ協力を仰ぎ、後任候補者の擁立に努めた。
成果		3回の推薦会を開催し、民生委員児童委員としてふさわしい人材を県に推薦した。
課題	業務	民生委員児童委員の担い手の確保が難しくなっている。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		区長等への協力を仰ぎつつ、広報等で民生委員児童委員について周知していく。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	法令（民生委員法）により実施が定められている。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	206 行旅死病人等取扱事務									
予算科目	01-030101-14 行旅死病人等取扱いに要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	行旅病人及行旅死亡人取扱法 墓地埋葬等に関する法律第9条					SDGs				

事業の概要

対象	行旅死病人等
目的	行旅死亡人等の埋火葬、行旅病人の救護
概要 (取組内容)	行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき、身元不明の病人の救護及び死亡者の埋火葬を行う。 また、墓地、埋葬等に関する法律第9条に基づき、身元は判明しているが埋火葬を行う者がいない、又は判明しない死亡者の埋火葬を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,020	4,035	5,272	5,341	5,341	
	決算額	(千円)	631	3,628	1,352	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-211	2,411	881	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	842	1,217	471	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	342	341	346	346	346	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	行旅死病人発生件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	8.0	10.0	16.0	22.0	9.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		引き取り手のない遺骨の増加のため、散骨の対応が可能な霊園等と調整を図る。
成果		法律の定めるところにより適切に行旅死亡人等の埋火葬を行うことができた。 散骨の対応が可能な霊園等と調整を図った。
課題	業務	散骨の運用を図るため規定を設ける。
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	法令（行旅病人及び行旅死亡人取扱法）により市の実施が定められている。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	207 戦没者追悼式事業									
予算科目	01-030101-15 遺族等援護に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課			
市長公約						係名	社会福祉係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs				

事業の概要

対象	戦没者の遺族等									
目的	先の大戦の戦没者及びその遺族に追悼の意を表するとともに、遺族の労苦にて深い敬意を表し、併せて恒久の平和を祈念する。									
概要 (取組内容)	つくば市遺族連合会の協力を得ながら、厳粛に、かつ、安全に戦没者追悼式を挙げる。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,470	1,735	1,775	2,414	2,414	
	決算額	(千円)	1,216	1,809	1,412	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,216	1,809	1,412	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,123	2,117	2,145	2,072	2,072	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	戦没者追悼式参列者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	500.0	500.0	450.0	450.0	450.0	450.0
	実績	433.0	0.0	0.0	259.0	284.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		感染症対策として前年度は参加者数を制限したが、今年度は遺族会への参列者の要請を積極的に行うとともに来賓の代理出席への対応を図るなどにより参列者増加のための取り組みを実施した。
成果		市遺族連合会と連携し、式典を開催することにより戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えた。
課題	業務	戦没者遺族の高齢化に伴い、式典参加者は減少傾向にある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		式典への参列者を令和5年度比で90%程度を目標とする。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	208 戦没者慰霊事業補助											
予算科目	01-030101-15 遺族等援護に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課					
市長公約							係名	社会福祉係				
戦略プラン								新規・継続	継続			
								事業分類	自治事務（任意）			
								事業体制	補助金（直接）			
個別計画								事業期間	毎年度			
根拠法令等								SDGs				

事業の概要

対象	戦没者の遺族等									
目的	慰霊事業の実施を促進する。									
概要 (取組内容)	つくば市遺族連合会に補助金を助成し、6地区の慰霊事業に要する経費の一部を助成する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	決算額	(千円)	1,000	716	982	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	1,000	716	982	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	342	341	346	346	346
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	慰霊事業参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	272.0	269.0	253.0	279.0
	実績	422.0	0.0	22.0	104.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		慰霊事業の実施方法等について、市遺族連合会と協議した。
成果		市内各地区において慰霊事業を実施した。
課題	業務	遺族の高齢化等により慰霊事業への参加者が減少している。
	組織、予算等	特になし
改善目標		慰霊事業を、護国神社や靖国神社に限らず積極的に行っていけるよう協議していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	慰霊事業の実施を促進するため。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	209 戦没者遺族等援護事務									
予算科目	01-030101-15 遺族等援護に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法					SDGs				

事業の概要

対象	戦傷病者及び妻・戦没者遺族等
目的	戦傷病者及び妻・戦没者遺族等の援護をもって福祉の向上を図る。
概要 (取組内容)	戦傷病者の妻に対する特別給付金、戦没者の妻に対する特別給付金、特別弔慰金などの受付・進達事務及び国債の交付等の事務を行う。 戦傷病者に対しては、無賃乗車券引換券交付等の事務を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	757	755	764	691	691
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	戦傷病者戦没者遺族等への申達受付・交付件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	130.0	255.0	0.0	0.0
	実績	14.0	1,170.0	800.0	704.0	247.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		第十一回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金は、令和５年（2023年）３月31日までに申請のあった申請に対し、国債交付のための手続きを進めた。
成果		第十一回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金 進達処理 53件 国債交付件数 247件 第三十回戦没者の妻に対する特別給付金 請求受付 1件 進達処理件数 1件 国債交付 1件
課題	業務	国債の受け取り手続きが完了していない申請者が見られる。
	組織、予算等	特になし
改善目標		国債受領の勧奨通知を発送し、受領漏れを防止する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	法令等により市の実施が定められている。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	210 社会福祉法人の設立・認可事務									
予算科目	01-030101-17 福祉監査に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課			
市長公約						係名	福祉監査係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	社会福祉法					SDGs				

事業の概要

対象	社会福祉法人									
目的	社会福祉法の規定に基づいた法人の設立や定款変更の認可等を行い、地域福祉拠点としての公共性を維持する。									
概要 (取組内容)	社会福祉法の規定による各種申請の上、法令の規定に違反していないかを審査し認可を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,513	2,190	2,218	2,218	0
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.30	0.30	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	60.00	60.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	社会福祉法人設立認可 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	2.0	1.0	1.0	3.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	社会福祉法人定款変更認可、定款変更届出 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	7.0	13.0	5.0	8.0	5.0	0.0
	指標の概要	社会福祉法人定款変更認可数と定款変更届出数の合計数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		社会福祉連携福祉法人の推進について近隣市町村の動向を調査した。（全国20法人、関東6法人、茨城県内は無し）
成果		令和6年度に設立予定の社会福祉法人（設立準備室）に対して、設立に向けた支援・指導を行った。
課題	業務	設立・認可した社会福祉法人に対して、設立・認可後も適正な運営指導をしていくためには更なる知識の習得と向上を図る必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		社会福祉法人の運営指導について、外部研修等に参加し知識の習得と向上を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	－	法令等により市の実施が定められている。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	211 社会福祉法人等の監査事務									
予算科目	01-030101-17 福祉監査に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課			
市長公約						係名	福祉監査係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	社会福祉法 他					SDGs				

事業の概要

対象	社会福祉法人、社会福祉施設及び福祉サービス提供事業者
目的	社会福祉施設等への支援向上及び運営の適正化を図る。
概要 (取組内容)	社会福祉法及び関係法令等の規定並びに市指導監査方針及び実施計画に基づき、法人に検査調書等の提出を求め、実地による指導監査を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	134	134	134	134	134	
	決算額	(千円)	77	90	117	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	77	90	117	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,492	12,189	12,348	12,362	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	1.70	1.70	1.70	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	250.00	250.00	256.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	指導監査対象法人・施設数 (施設)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	142.0	144.0	114.0	169.0	201.0	0.0
	指標の概要	指導監査を実施した数。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		過去の指導監査の結果等のデーターを基に事前に係内で重点的に見る項目を確認することにより運営指導の効率化を図った。
成果		関係各課との連携を強化するとともに、係内で事前に過去のデーターを基に重点的に見る項目を協議する等、監査の効率化を図ったことにより、当初計画数183事業所を上回る201事業所の運営指導監査を実施した。
課題	業務	より精度と質の高い運営指導監査を実施するためには、更なる知識の習得と向上を図る必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		運営指導監査に必要な知識の習得と向上を図るための研修を継続的に計画・実施していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	217 生活困窮者自立支援事業									
予算科目	01-030301-12		生活困窮者自立支援事業に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約	38						係名	保護係		
戦略プラン							新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（義務）		
							事業体制	一部委託		
個別計画							事業期間	毎年度		
根拠法令等							生活困窮者自立支援法	SDGs	01 貧困をなくそう	

事業の概要

対象	生活困窮者
目的	生活困窮者の自立を促進する。
概要 (取組内容)	生活保護に至る前の支援策として、生活困窮者自立支援法に定める自立相談支援事業、住居確保給付金支給事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業、一時生活支援事業を一体的に実施し、生活困窮者の自立を図る。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	63,102	59,153	54,678	46,002	46,002	
	決算額	(千円)	55,495	49,997	48,750	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	14,895	19,125	20,530	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	40,600	30,872	28,220	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,856	2,847	2,885	2,763	2,763	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	50.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページを活用した情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	自立相談支援事業の新規相談受付件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	54.0	379.0	1,026.0	939.0	461.0	0.0
	指標の概要	自立相談支援機関の支援・広報・普及状況を把握するため、令和5年度から本指標を追加する。 生活困窮者自立相談支援事業の新規相談受付実件数（本人未特定含む）					

2	指標名	就労支援対象者の就労・増収者率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
	実績	55.0	16.7	27.7	30.2	45.2	0.0
	指標の概要	就労支援対象者の就労率					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和５年度から相談支援体制を強化するため就労支援員を１名増員（計２名）し、生活困窮者等の早期発見、迅速支援、関係機関との連携体制づくりを進める。
成果		支援員を１名増員したことにより、訪問による支援件数が令和４年度89件に対し、令和５年度は271件（令和6年1月末時点）と増加し、生活に課題を抱えている相談者に対して寄り添った支援を行うことができた。また、支援員を増員をしたことで、生活保護受給者の就労支援対象者等の訪問実施にも繋がった。
課題	業務	複雑多様化する相談内容に適切かつ迅速に対応できるよう、自立相談支援機関だけでなく、地域の関係機関と連携強化が必要である。また、支援員の資質向上を継続的に努めていく。
	組織、予算等	市関係部署において、さまざまな生活困窮者に関する情報を有しており、早期対応できる更なる連携強化が必要である。
改善目標		地域の関係機関、市関係部署が把握している生活困窮が疑われる個々のケースの情報共有や地域における支援体制の検討を行う支援会議の開催に向けた取り組みを進める。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	218 被災住宅復興支援事業									
予算科目	01-030401-11 災害救助に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課			
市長公約						係名	社会福祉係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	災害弔慰金の支給等に関する法律					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	東日本大震災及び竜巻災害による被災者									
目的	被災者の自立の助長を図る。									
概要 (取組内容)	東日本大震災及び竜巻により被災した住宅の復旧に要する資金を金融機関から借り入れた場合、借り入れに係る利子の補給を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	970	480	320	0	0	
	決算額	(千円)	794	462	320	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	794	462	320	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	709	706	2,097	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.30	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	利子補給支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	21.0	20.0	13.0	7.0	4.0	0.0
	指標の概要	東日本大震災、竜巻災害により被災した住宅復旧に要する貸付利子の補給件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		被災者の自立助長と保護が図られた。 被災住宅復興資金利子補給支給 東日本大震災 2件 128,000円 竜巻災害 2件 192,100円
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ		
進捗状況		
市の関与		
優先度		

方向性

方向性	終了
理由	利子補給の期間が終了するため。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	219 つくば市災害見舞金支給事業									
予算科目	01-030401-11 災害救助に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市災害見舞金等支給要項					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	火災及び床上浸水等の被災者
目的	被災者の自立の助長と保護を図る。
概要 (取組内容)	火災及び床上浸水等の被災者に対し、被害の程度や世帯員数により見舞金を支給する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	300	300	420	420	420	
	決算額	(千円)	180	130	270	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	180	130	270	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計	(千円)	684	681	2,072	346	346	
人件費	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.30	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	見舞金支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	5.0	7.0	3.0	23.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		被災者の自立の助長と保護が図られた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	017 生活保護事業											
予算科目	01-030301-11		生活保護対策に要する経費						担当部課	福祉部社会福祉課		
市長公約									係名	保護係		
戦略プラン											新規・継続	継続
											事業分類	法定受託事務
											事業体制	職員のみ
個別計画									事業期間	毎年度		
根拠法令等									生活保護法	SDGs	01 貧困をなくそう	

事業の概要

対象	生活困窮者
目的	健康で文化的な生活を保障するとともに、生活困窮者の自立を助長する。
概要 (取組内容)	国からの法定受託事務として、要保護者の困窮の程度に応じ、生活扶助、医療扶助、介護扶助等必要な費用を給付して自立を助長する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2, 303, 372	2, 193, 702	2, 272, 747	2, 288, 017	2, 288, 017	
	決算額	(千円)	2, 302, 372	2, 193, 702	2, 302, 369	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	634, 158	794, 199	511, 419	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1, 668, 214	1, 399, 503	1, 790, 950	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	119, 334	117, 213	125, 705	114, 648	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	16. 60	16. 60	17. 60	16. 60	0. 00
		正職員時間外勤務	(時間)	2, 426. 00	1, 705. 00	1, 711. 00	0. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページを活用した情報発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	生活保護申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	180.0	184.0	269.0	229.0	281.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	生活保護受給世帯数 (世帯)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	927.0	964.0	1,010.0	1,055.0	1,096.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	医療券発行枚数 (枚)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	31,572.0	32,640.0	34,080.0	36,470.0	36,572.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	介護券発行枚数 (枚)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9,198.0	9,010.0	9,385.0	10,110.0	9,551.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		家庭訪問する際は複数の職員で訪問する体制を構築した。また、生活保護業務に係る事務補助を担う会計年度任用職員を増員した。さらに、継続して自立相談支援機関と連携し一体的な相談支援を行った。
成果		複数の職員での訪問体制を構築することで対応方法の統一化と対応する能力の向上を図ることができた。また、会計年度任用職員を増員し生活保護業務に係る事務補助を担うことにより職員の負担を軽減しケースワーク業務に専念する体制を構築することができた。
課題	業務	申請件数が増加しているとともに多様な課題を抱えるケース、対応が困難なケースも増加しているため、継続して適切な生活保護事務の遂行及び多様化する相談への支援体制、対応能力の向上が必要である。
	組織、予算等	被保護者世帯、被保護人員とも増加傾向であるため、今後も扶助費は増加する見込みである。
改善目標		被保護世帯の増加や対応困難ケース等に対応するため、人員体制も含めた支援体制の構築と対応能力の向上を図っていく。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	今後も被保護世帯の増加が見込まれるため

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	076 避難行動要支援者事務									
予算科目	01-030401-11 災害救助に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約	71									
戦略プラン						新規・継続	新規			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制				
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	災害対策基本法					SDGs				

事業の概要

対象	避難行動要支援者
目的	災害時に自力での避難が難しい者の名簿を作成し、避難支援に活用する。
概要 (取組内容)	避難行動要支援者名簿の掲載要件（要介護認定や障害者手帳等の所持）に該当する者の名簿を作成する。 また、掲載者に対して関係機関への情報提供の同意を確認し、同意した者については、平常時から避難支援者に提供する。さらに個別避難計画の作成を促すことで、災害時の迅速な対応に活用していく。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	745	745	745	745	745	
	決算額	(千円)	700	712	720	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	700	712	720	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,734	2,724	2,418	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.35	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	個別避難計画作成件数 (件)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	62.0	228.0	967.0	1,073.0	1,069.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		個別避難計画が未策定の方へ再通知し、訪問活動により策定を推進した。
成果		避難行動要支援者に対し、個別避難計画作成の推進に努めた。
課題	業務	名簿登録者のうち毎年600～700名ほどが新規登録、死亡、転出、施設入所等の理由で入れ替わるため、個別避難計画の策定の推進が難しい。また、策定した個別避難計画の更新や計画策定及び地域支援者への個人情報の同意について同意・未同意の返答がない方への対応が今後の課題。
	組織、予算等	防災に関する担当課である危機管理課と連携を図りながら進めていく必要がある。
改善目標		個別避難計画策定の方法や優先順位について他自治体の事例等を検討し、個別避難計画の策定を推進する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	205 民生委員児童委員協議会調整事務									
予算科目	01-030101-13 民生委員活動に要する経費					担当部課	福祉部社会福祉課			
市長公約	10-2					係名	社会福祉係			
戦略プラン	Ⅱ-1	2	1	民生委員とふれあい相談員との連携推進			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	補助金（直接）		
個別計画						事業期間	毎年度			
						SDGs	03すべての人に健康と福祉を			
根拠法令等										

事業の概要

対象	民生委員、児童委員
目的	各民生委員児童委員及び主任児童委員の資質向上を図る。
概要 (取組内容)	定例会では、行政担当者を講師として、生活保護制度、児童母子福祉、障害福祉、高齢福祉等、福祉全般に関する行政手続を研修し、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。 支部別研修・事項別研修を通し、福祉施設の現状視察や各々の事例検討を行い、民生委員児童及び主任児童委員としての資質向上に努める。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	30,904	30,904	32,582	32,778	32,778	
	決算額	(千円)	27,108	27,950	30,965	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	27,108	27,950	30,965	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,455	9,159	9,283	9,283	9,283	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	1.30	1.30	1.30	1.30
		正職員時間外勤務	(時間)	125.00	125.00	125.00	125.00	125.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	民生委員が受けた相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	6,490.0	5,814.0	5,872.0	6,237.0	6,304.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-1-②民生委員等のサポート強化と次世代の育成) 民生委員が受けた相談件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		各種福祉制度のほか、防災等に関する内容等幅広い分野の研修を実施した。
成果		事業計画に基づき、各地区ごとに研修を行った。 研修内容：災害対策・各種福祉虐待・特殊詐欺・成年後見人制度等
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	197 地域福祉推進事業									
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費					担当部課 係名	福祉部社会福祉課 社会福祉係			
市長公約	10-2									
戦略プラン	Ⅱ-1	2	2	学校で親子への支えあいボランティアの体			新規・継続	継続		
	Ⅱ-2	2	2	ボランティア事業の推進			事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	全て委託		
個別計画	地域福祉計画（第4期）					事業期間	毎年度			
						SDGs	03すべての人に健康と福祉を			
根拠法令等										

事業の概要

対象	市民									
目的	市民主体のつくばらしい健康で健全な福祉のまちづくりを進める。									
概要 (取組内容)	住民参加型福祉サービス拡大事業（つくばさわやかサービス） ボランティア育成・支援・研修事業 福祉相談事業 社会福祉協議会に委託									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	14,375	14,375	14,415	14,920	14,920	
	決算額	(千円)	14,178	14,322	14,313	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	14,178	14,322	14,313	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	709	706	371	371	371	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—									
企画・立案、計画	—									
実行	—									
評価、検証	—									

指標の推移

1	指標名	ボランティア登録団体数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	190.0	195.0	200.0	155.0	160.0	190.0
	実績	186.0	154.0	152.0	157.0	180.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-1-②民生委員等のサポート強化と次世代の育成) ボランティア登録団体数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		「つくばスタイル科単元プラン」への「福祉体験教室」に関する情報掲載を担当課に依頼し、教員への「福祉体験教室」の事業周知を図った。
成果		地域福祉の推進が図られた。
課題	業務	地域における民生委員等の担い手が不足しているため、次世代の担い手育成及びボランティア活動の積極的な推進を図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		夏休み等の期間中に学校以外の場での福祉体験等の機会を設け、次代を担う子どもたちが福祉に触れる機会を継続的に実施していく。また、ボランティア事業については、継続して市内の公共施設等において団体の活動等の展示を実施するとともに市民のボランティア活動に対する関心を高めていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	地域における福祉活動の推進及び次世代の担い手育成が必要なため。